



# 大樹のこころ

## 分散運動会

校舎の改修工事が続く大樹寺小。仮設校舎や仮設駐車場が運動場に作られ、活動できる場所が狭くなっています。今年度の運動会の実施案について、何度も協議を重ねましたが「子供の安全確保」「表現運動の質の保持」の観点から、低・中・高学年に分けて実施する「分散運動会」を行うことにしました。

分散運動会になったことで大きな変更点は、リレー・徒競走に代わり競争遊戯を取り入れたことです。トラックラインを取ることができず、苦渋の選択です。1・2年生は「ダンシング玉入れ」3年生は「でかパンリレー」4年生は「大樹寺ハリケーン」5年生は「大玉リレー」6年生は「段ボール運びリレー」を行いました。リレーは運動会の花形競技。それに代わるものとして実施する競争遊戯です。先生方には「見応えのある工夫をしてほしい」とお願いしてきました。1・2年生の「ダンシング玉入れ」では、玉入れ競技と表現ダンスが交互に行われます。曲のスピードを変化させることでメリハリのある競技にすることができました。3年生の「でかパンリレー」では、コースをジグザグにすることで、競技のハードルを上げていました。4年生の「大樹寺ハリケーン」では、コーンの数を増やしハリケーンの発生回数を増やす工夫がありました。5年生の「大玉リレー」では引継ぎの際に大玉を高いフラフープに置く活動が、難易度を高めていました。6年生「段ボール運びリレー」では、運ばれた段ボールを積み上げると学級訓が完成するというアイデアが取り入れられていました。どの学年も、安易に道具を使っただけの競技に流されず、ユニークな競争遊戯になったと思いました。

各学年には競争遊戯に加えて、もう一つ出し物があります。それが表現運動です。3・4年生の「ソイヤー!! 一天濤快」。ダイナミックでリズムカルな表現。かなりの運動量となりますが、3・4年生の子供たちのすごいところは「掛け声」の迫力です。秋空に響けとばかりの大声に、胸が熱くなりました。1・2年生は「サンバdeグッドラック」。マツケンサンバに乗せてのダンスは気分ノリノリ。中には歌を口ずさみながら踊る子も。

「可愛い正義」という言葉がありますが、子供たちのダンスに全てを許したくなってしまいます。そして運動会のメインは5・6年生による野外劇「家康の自立」です。本校伝統の演目。昨年度大きくリニューアルした野外劇ですが、今年はさらに進化した姿を見せてくれました。表現や演技だけでなく、静止をしている時の美しさ。これぞ高学年と感ずる圧巻の演技で、今年の運動会を締めくくってくれました。

全校児童が揃っての運動会ではありませんでしたが、子供たちや先生方は限られた条件下で最大の努力をし、最高の姿を見せてくれました。そんな子供たちや先生方を誇りに思います。

